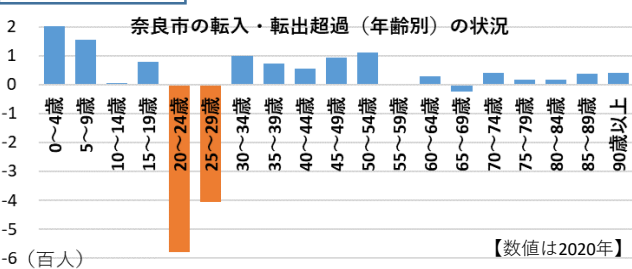


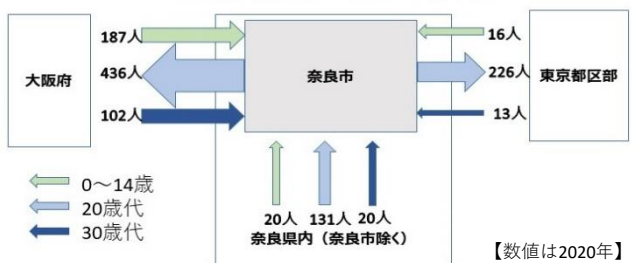
# 第2期奈良市総合戦略 概要版

## 社会増減



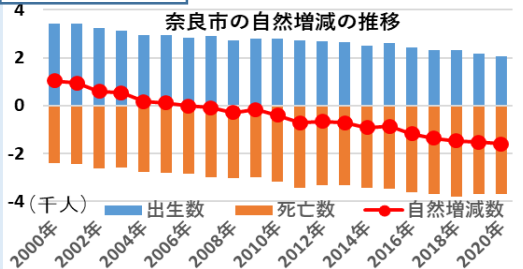
- ◆ 0～10歳代【転入超過↑】
- ◆ 20歳代【転出超過↓】
- ◆ 30歳以上【転入超過↑】
- ◆ 全年代トータル【転入超過↑】

### 主要地域との転入・転出超過の状況



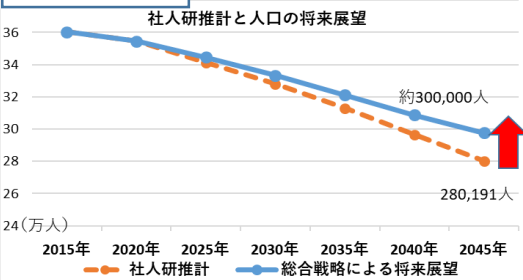
- ◆ 20歳代の就職世代を中心に大阪府等の都市部へ転出超過傾向
- ◆ 0～14歳、30歳代の子育て世代は大阪府等の都市部からの転入超過が多い傾向

## 自然増減



- ◆ 女性人口の減少
- ◆ 出生率の低下 ⇒ 出生数の減少
- ◆ 高齢化の進展 ⇒ 死亡数の増加

## 将来展望



### 【将来展望の設定】

- ①合計特殊出生率：2026年に1.37、2045年に1.93に上昇
- ②25～39歳の人口増減率：2040年に±0%、2045年に+0.1%に上昇

## 目指す将来像

- 奈良で育った子どもたちが、奈良で活躍できる環境を作りつつ、広く社会に出て、いつか「子育てするなら奈良」と戻ってきたくなるまち
- 子育て世代や働く世代を中心に、様々な世代がそれぞれのライフステージで自己実現を叶えられるまち

## 重点目標

「ひと」中心の未来社会をデザインし、住みやすく「選ばれるまち」を目指す

### KGI

- ①人口の社会増減（全年齢合計）  
⇒ プラスを維持（2020年：+298人）
- ②人口の社会増減（0～14歳合計）  
⇒ +500人に（2020年：+361人）
- ③人口の社会増減（15～64歳合計）  
⇒ プラスに（2020年：-451人）
- ④奈良市に住み続けたいと思う20歳代の割合  
⇒ 60%に（2021年：45%）

### 重点項目1

#### 新たな時代の流れや変化を力にする

- DXなど未来技術を積極的に取り込みむとともに、SDGsなど世界の共通目標の理念にも沿った、持続可能な未来社会の実現に挑戦する。
- 【主な取組内容】 行政のデジタル化の推進、カーボンニュートラル・脱炭素社会の実現

### 重点項目2

#### 多様な主体とのつながりを力にする

- 公民連携の推進や関係人口の創出・拡大など、大阪・関西万博なども契機に、多様な主体の持つ強みや特性を積極的に生かすまちづくりや先進的な社会モデルを作り出す。
- 【主な取組内容】 持続可能な地域共生社会の構築（東部振興）、旧奈良監獄・鴻池運動公園周辺整備の推進

### 重点項目3

#### 自らまちの活力を創り出す

- 子育て世代をはじめとする若い世代や女性が活躍するための環境作りや教育などの担い手づくりを強力に進めることで、奈良のブランド力の向上など、活気あふれる好循環を創り出す。
- 【主な取組内容】 子どもセンターを中心とした子育て支援の充実、新産業創出や企業誘致の促進、多様なニーズに応じた教育の推進

基本目標1 誰もが子育てに関わり多様な生き方を認めあうまち

基本目標2 地域の特性をいかした様々な働き方にチャレンジできるまち

基本目標3 誰かのやりたいことが他の誰かのやってほしいことになる機会をみんなでつくっていきけるまち

基本目標4 命と生活を守るために自分たちで考え行動できるまち

基本目標5 互いのつながりを大切に今と未来をともに作り出せるまち

奈良市第5次総合計画と施策を連動